

2014年12月25日

日本ユニシス システム構築からアプリケーション運用までのサービス体制の構造改革を実施 USOL 地域開発会社吸収合併

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、日本ユニシスの100%子会社であるUSOL 北海道株式会社、USOL 東北株式会社、USOL 東京株式会社、USOL 中部株式会社、USOL 関西株式会社、USOL 中国株式会社およびUSOL 九州株式会社の7社（以下 USOL 地域開発会社^(注1)）を2015年4月1日付で吸収合併します。日本ユニシスを存続会社とし、USOL 地域開発会社は解散します。

今回の合併は、日本ユニシスグループの中期経営計画「Innovative Challenge Plan」の実行施策の一環として行います。

クラウド、ソーシャルメディア、IoT^(注2)利用の拡大などで、今後消費者創発による新たな市場が創出され、業種・業態をまたがるサービス創造がますます活発化していく中、お客さまのビジネススピードはさらに速まると予想されます。

日本ユニシスグループは、サービス提供スピードの加速化を目指し、今まで培ってきたアプリケーション資産や知財に対して、部品化、標準化、自動化などの「サービスの工業化^(注3)」を強化するため、日本ユニシスとUSOL 地域開発会社に跨っていた、システム構築からアプリケーション運用までの構造改革を行うためにサービス体制を集約いたします。

なお、合併に伴う異動人数は約700名で、日本ユニシスの従業員は約4200名になる予定です。

USOL 地域開発会社は、1985年12月に設立された日本ユニバック・ソフト・エンジニアリング株式会社と、地域ソフトウェア会社6社を統合して2004年10月に設立した日本ユニシス・ソリューション株式会社を母体にし、2007年4月にUSOL ホールディングス株式会社の設立と同時に、地域7箇所の開発会社として再編成されました。

以後、日本ユニシスグループ企業として、金融、製造・流通、社会公共などの幅広い分野の業務システムの構築とアプリケーション運用を担ってきました。

合併後もお客さまへ継続してサービス品質向上に努めていきます。

以上

注1：USOL 地域開発会社

USOL 北海道株式会社（本社：北海道札幌市、社長：服部 克己）

USOL 東北株式会社（本社：宮城県仙台市、社長：山田 正志）

USOL 東京株式会社（本社：東京都江東区、社長：山田 正志）

USOL 中部株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：住井 孝司）

USOL 関西株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：住井 孝司）

USOL 中国株式会社（本社：広島県広島市、社長：松掛 憲吾）

USOL 九州株式会社（本社：福岡県福岡市、社長：松掛 憲吾）

注2：IoT（Internet of Things）

様々なモノがインターネットに接続され、互いにつながる仕組み。

注3：サービスの工業化

サービス提供において、自動化・標準化・部品化などを行うことで効率的なサービスの提供を行うこと。

*記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。